

# iPad 我も

## きょう 日本発売

### 国内出版急ピッチ

新しい電子書籍端末の相次ぐ参入を控える中、新型情報端末「iPad(アイパッド)」が28日、国内で発売される。4月に発売された米国では100万台以上売れる人気。出荷が追いつかず、予定から1カ月遅れの「上陸」だ。発売前夜の27日夜、都内の直営店などには、一番乗りを狙った予約客や当日販売目当ての客の長い列ができた。

iPadの発売日に照準を合わせて、出版業界も急ピッチで準備を進めてきた。「iPadはスムーズに動くし画像も美しい」。そう絶賛するのはコンデナスト・パブリケーションズ・ジャパンの北田淳社長。iPadで読める電子雑誌として、「VOGUE NIPPON」など三つのファッション誌を独自アプリ(ソフト)として準備する。動画も多く使うが、価格は紙よりの割安い。すべての著作権者と、電子化を進めるための新たな契約

を取り交わした。「電子化は絶対に必要という経営判断」(北田社長)だという。映像や電子書籍の配信事業を行う角川コンテンツゲートの安本洋一・常務も、iPadの画面が持つ表現力に注目する。「再現性が高く、それぞれの雑誌の持つ誌面の雰囲気まで表現できる」と語る。コミックも有望分野だ。これまで日本の電子書籍市場を引っ張ってきたのはケータイコミック。携帯電話ではコマごとに読ませる見せ方が主流だったが、iPadではペー

ジ(この表示が可能になる。「我が社が携帯電話iPhone(アイフォン)用に提供しているアプリは、解像度が高いので、そのままiPadできれいに読める」と語るのは、イーブックイニシアティブジャパンの小出善社長。「北斗の拳(集英社)」「静かなるドン(実業之日本社)など的人气男性マンガを中心に2万7千タイトルをそろえる。書籍で読まれるのは何か。参考になるのは先行するiPhoneでの売れ行きだ。配信サイト「アップストア」

のダウンロード数が最初に1万を超えたのは、井上篤夫著「志高く 孫正義正伝 完全版(実業之日本社)」の1万3千本。これを上回るのが岩崎夏海著「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」(ダイヤモンド社)で、1万5千本。どちらもビジネス書だ。電子出版の草分け、ポイジャーは各出版社の書籍から約50タイトル、印刷会社の廣済堂は約200タイトルを準備する。やはりビジネス書と実用書が中心だ。(竹端直樹)

### アップルの「審査

#### 電子出版「ポイジャー」萩

iPadやiPhone用の電子書籍は、マノブを得た上で「アップストア」などで販売される。の許諾で表現に踏み込んだ審査がなされ、審査などの声もある。電子出版を早くから手がけてきたポイジャーの萩野正昭社長に聞いた。

iPhone導入当初の2008年、我が社は大谷和利著「iPhoneをつくった会社」などアップルに関する本2作を配信してもらおうと、ある大手出版

### アップルの時価総額 マイクロソフト超え

【ニューヨーク=山川一基】米アップルの時価総額は26日の終値で2221億ドル(約20兆円)となり、マイクロソフトの2191億ドル(約19兆7千億円)を上回り、IT企業で世界最大になった。

携帯電話「iPhone」「iPad」などがヒットが上昇を続けた。ロイヤリティの時価総額がマイクロソフトを1989年12月1日アップルは1990年12月1日アップルの基本ソフトとパソコンの基本ソフトを巡る競争で劣勢になり、トから出資を受けたことを受け



### 前々日に一番乗り 夜は眠れなかったけど...

東京・銀座の中央通り沿いの「アップルストア銀座」。販売開始は28日午前8時だが、店の前には27日昼ごろから人が並び始め、午後10時すぎには1000人を超えた。先頭は、東京都府中市の山中竹千代さん(19)。予約はしていたが、一番乗りを狙って26日午後4時に到着。「その時」を待った。昨春、大学入学のため岐阜から上京したが、中退。アルバイト生活に終止符を打ち、1週間後には実家に帰る。最後の思い出に大イベントの最前線を味わおうと、1カ月前から簡易投稿サイト「ツイッター」上で「一番乗り」を宣言していた。待っている様子を逐一書き込んだところ、発言を追跡するフォロワー(読者)は2千人以上に。両に見舞われほとんど眠れなかったが、見知らぬ人と写真を撮ったり、差し入れをもらったりと予想外の反響があった。「世界とつながっている感じがおもしろい」

埼玉県鴻巣市の自営業小川和義さん(41)は当日販売があると知り、27日昼から仕事を抜け出して並んだ。すでに米国から仕入れて使っており、今回はプレゼント用。「iPadは持ち運べて、文字も打ちやすい」と魅力を語る。会社の同僚という20代の男性5人は「上司から一人2台ずつ、計10台買ってほしいと言われた」と、歩道にビニールを敷いて座った。

## 木瀬親方、2階級降格

### 相撲協会処分 事実上の部屋閉



清見瀧親方

木瀬親方

昨年7月の大相撲名古屋場所所で土俵周りの特別席に暴力団関係者が座っていた問題で、日本相撲協会は27日、理事会を開き、席の調達にかかわった木瀬親方(40)元幕内肥後ノ海を、委員から最下位の年寄に2階級降格させる処分を決めた。また、弟子を所属する出羽海一門の預かりとし、事実上、部屋を閉鎖させる。木瀬親方から調達を依頼された清見瀧親方(64)元幕内大竜川は、譴責処分となった。

スポーツ面に関係記事木瀬親方は5年以上前から知人の会社経営者に特別席の手配を頼まれ、清見瀧親方から依頼していたという。愛知県警への取材によると、昨夏の名古屋場所で購入した2席は、15日間のうち14日間、暴力団関係者が2人ずつ観戦していたという。

### 暴力団排除へ厳罰

木瀬親方への処分は、いわゆる「お家取りつぶし」だ。厳罰の背景には、角界が暴力団排除に本腰を入れたことがある。力士たちは明治の昔から「男芸者」と揶揄され、本場所中であつても後援者の誘いには顔を出すのが一般的だ。暴力団関係者がそんな慣例を利用して角界関係者に近づき、恐喝事件の現場に「威嚇用の小道具」として同席させるなど、犯罪行為に加担させる例も過去にはあつた。

だが、一昨法人の新制度従来通り税制受けたいと考とって、その清算が求められた大報じられた大よ、理事会でも、その一つただ、処分

### 折込広告が届くしあわせ。

けさも多くの方が



静御前 源義経の恋人だったそなた。踊りがとくいで、義経とはなればなれになつて頼朝にどらえられたとき、義経のことを思いながらすばらしい舞を舞ったといふよ。

いい家とは何か 建てる建てないに関係なく 家の本質を